



「BCPの策定が役に立った」と語る大和社長

和光機械工業株式会社



所在地 川口市東内野2721
 代表者 代表取締役社長 大和 勇記
 事業内容 バルーン照明機、投光機、ダイオキシン対策型焼却炉、小型建設機械の製造・販売
 資本金 5,000万円 従業員数 23名
 TEL 048-295-3228
<http://www.wacoh.ne.jp>

世界の国々に奉仕する「技術の和光」として雄飛する同社の大和社長に話をうかがいました。

◆会社の概要を教えてください。

大和 1968年に創業し、振動ランマー（土締め転圧機）、振動プレートなどの小型建設機械の開発、製造、販売からスタートし、昨年、創立50年を迎えることができました。その後、コンクリートカッター、振動ローラーなどのアイテムを増やしていきました。米国、欧州、東南アジア、中近東などにも輸出しています。

お客様のニーズに応え、夜間工事用投光機やダイオキシン対策型焼却炉など、“WACOH”ブランドの自社製品を開発、製造、販売しています。大手建設機械メーカーや電動工具メーカーなどにもOEM供給しています。

山形県鶴岡市の山形工場では製品開発、製造部門、部品センターがあり、ここ川口本社は本社機能と営業部門、サービス技術センターがあります。

研究開発型メーカーとして、お客様の要望を聞きながら、小回りを利かせ素早く製品化できることが強みです。振動ランマーの日米特許をはじめ、延べ約100件の特許、実用新案、意匠、商標を保有しています。

◆自慢の製品について、教えてください。

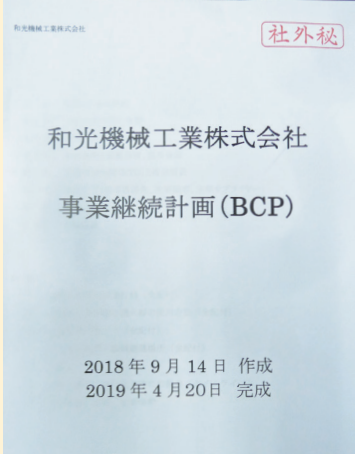
2000年に世界で初めて発電機一体型のバルーン照明機を完成させました。最新の「LEDバルーン照明機」は屋内、屋外の移動式照明で、高輝度のLEDの周りをバルーン状の布が包み、非常に明るく長寿命です。特許を取得したリモコンで90から300ワットの無段階調光、電源のオン・オフもできます。半径10メートル程度の範囲を360度照らせます。道路工事用からはじまり、災害、防災、防犯、警備以外にもイベントやスポーツ照明、夜間照明などとして、埼玉スタジアム2002、行政、小中学校などの教育施設、警察、消防などさまざまな分野で採用されています。スーツケースタイプで収納でき、持ち運びも簡単、保管に場所もとりません。高い技術力やノウハウを生かした優れた製品として、川口市のi-monoブランドに認定されました。

投光機は1984年に夜間照明用として開発されました。初期はライトだけの簡易なものでしたが、バッテリー搭載型やLED照明を採用したりと現場の意見を反映して改良を重ね、トラッククレーン投光機やLED投光機など形や用途を変えて提供しています。

安心・安全なものづくりの追求



誇る山形工場
(上) 開発から出荷までの一貫した生産体制を



土のう製造機



LEDバルーン照明機



アースクリーン焼却炉

焼却炉は無臭、無煙で廃プラスチックやゴムを焼却したい要望をお客様から受け、1991年に大手建設機メーカーなどとの共同開発で、クリーンロースターを開発しました。2000年に制定されたダイオキシン類対策特別措置法により、多くの焼却炉メーカーが撤退する中で、当社は国の厳しい基準をクリアした焼却炉の開発に成功しました。廃棄物処理法改正にも適合するダイオキシン対策型焼却炉「アースクリーン焼却炉」は、木くず、紙くず、段ボールくず、^{ちゅうかい}厨芥が少量混ざったゴミ、発泡スチロール、ゴムホース、エレメント、ゴム・プラスチックなどが少量混ざったゴミなどを焼却できます。国のダイオキシン排出基準を大幅にクリアする性能を実現し、国の排出基準5ナノグラム(50kg/h以上)に対し、0.0010ナノグラムです。もちろん完全燃焼で煙も臭いも出ません。耐火セメント構造により、内部は耐火物に覆われているので高温による変形、酸化を大幅に抑制し耐久性、メンテナンス性に優れています。

工務店をはじめ、建築・土木関係事業所、木工所、お寺、石材店、農業、産廃業、工場など多数の事業所にご利用いただき、埼玉県で600台以上の導入実績があります。

◆BCPの策定が役立ったそうですが。

大和 埼玉県産業振興公社の指導のもと、BCP（事業継続計画）を策定した数カ月後の今年6月に山形県沖地震が発生しましたが、マニュアルがあったおかげで、工場の状況や職員の安否確認、協力工場の状況などの初期対応に役立ちました。素早く的確な行動がとれて何の混乱もなく対応することができました。BCPの策定を、ぜひお勧めします。なお、山形工場は被害を免れました。

◆今後の展開・抱負は。

大和 ODA（政府開発援助）で、アフリカ、中米、東南アジア、欧州などに災害用に投光機を供給していますので、今後も続けていきます。

メーカーとして「誠実でありたい」ということです。いろいろな事が起きますが、誠実に対応していくことが基本的考えです。是々非々で、良いことは良い、悪いことは悪いと対応しています。

従業員には当社に入って良かったと思える会社になりたいし、豊かになってほしい。このために働き方改革などの社内体制を整備しています。

メーカーとして「安心・安全なものづくりの追求」を心掛け、お客様との信頼性を築き上げ、お客様に選ばれる商品づくりに邁進^{まいしん}していきます。